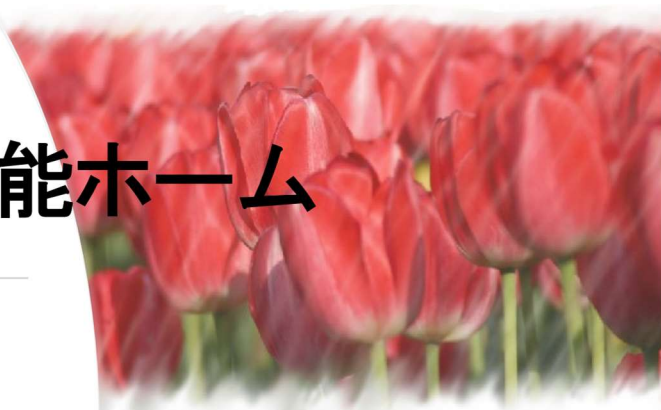


小規模多機能ホーム うらら 事業報告書

2023年4月吉日



住宅型有料老人ホーム グループハウスうらら

平成17年開設

定員6名(男性1名 女性5名)



地域密着型小規模多機能型居宅介護 小規模多機能ホーム うらら

平成21年開設

登録定員25名

(通いサービス 15名、泊まりサービス5室、随時ご自宅に訪問)

現在の登録者(男性5名、女性15名)

施設長より ごあいさつ

麗春の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



ようやく家族会を開けるようになりました。本当に長かった。まだ油断はできませんが、少しずつコロナ流行前の状況に戻して、そして、もっと利用者さんにご家族の笑顔が見られるよう、もっと地域に根差した施設になれるように挑戦していきたいです。

私たちうららスタッフは日ごろの業務とは別に「よりよくなるためにどうしたらいいんかい?! (委員会活動)」をしています。でも、なかなか、利用者さんにご家族さまにスタッフの頑張りをお伝えする機会がありません。なので家族会では思う存分「こんなことをやってるよ!」と誇示させていただきたいと思っています!

まず、私から発表させていただきます。

昨年度は、私やスタッフ、利用者さんにも苦しい1年だったのではと感じています。「サービス提供体制強化加算」「科学的介護推進体制加算」「介護職員等ベースアップ加算」と値上がり続きでご負担をおかけしました。

また、転倒、骨折する事故やコロナ流行などが続けざまに起きて、利用者さんも痛かった、苦しかったですが、私もスタッフもつらかったです。毎日もがいても、もがいても、前に進まない水の中を歩くような1年でした。ただ、その中で確実に私たちは強いチームに成長できたと思っています。

対外的な活動は自粛していましたが、研修や実習は続けてきました。今年の2月には私たちの半年かけて取り組んだ「身体拘束解除のためのプロセス」をテーマにした事例を東海・北陸ブロックで発表させていただく機会を得ました。スタッフ全員で困難ケースに立ち向かい、話し合いを重ね、チャレンジとイノベーションしていく姿勢を、県内外の同業者にお褒めの言葉を頂きました。

これからも反省すべきところは反省し、けれど委縮することなく「よりよくなるために」の実践、評価、計画、そして、また実践の繰り返し……をわくわくしながら続けたいです。

小規模多機能型居宅介護 実践報告研究会

つながろう つなげよう
北陸&東海地域限定版

現場の実践者同士だから理解し合えることたくさんあります。地域の中で、地域を超えて実践を通してつながりましょう

日時:令和5年2月20日(月)
18時30分~20時

開催方法:オンライン(zoom) 参加費:無料!

お申込先: お申込みは申込フォームよりお申込み下さい。
※右のQRコードを読み取り下さい。
申込URL: <https://forms.gle/Rdm2sLTLWxWintAIG>
※右のQRコードを読み取り下さい

【報告者】

1. 小規模多機能つくみ 管理者: 杉森幸恵氏
「家族とともに最後まで利用者と寄り添う」
2. 小規模多機能ホームうらら 管理者: 渡辺菜美
「うららでの身体拘束排除のためのプロセス」
3. (株)ふるさと ふるさとの里 管理者: 伊藤猛・看護師: 西村大輔
「在宅生活の限界はだれが決めるのか?」

今年のテーマは「地域とつながっている実感」「季節を感じられる工夫」です。



天気の良い日はドライブしたり、お散歩に行ったり・・・、



行事の食事を作って食べたり・・・

私たちがどれだけこのテーマを実現できるかを興味を持って見守り、ある時は協力していただければ幸いです。

ホームページをリニューアルしました。

できるだけ頑張ってお知らせして、日頃の様子を皆さんに

お届けしたいと思っています。ぜひ、のぞいてみてください

<https://npo-partner.jp/>



